

～マクダネル XF-85 ゴブリン



[↑ F-86 との比較]

[アメリカ空軍博物館にある実機(撮影筆者)→]

本機 XF-85 ゴブリンは、敵領土深く進攻する爆撃機に搭載されて使用されることを予定した試作戦闘機で、1948年に初飛行しています。B-29を母機として実験が繰り返されましたが、母機へ帰投する際の操縦は難しく、2回は地上に不時着しています(なお、「XF-85」で検索するとYouTubeで動画を見ることができます)。F-86との比較でわかるように、正式化されていたとしても、結局MiG-15など敵の本格的な戦闘機には歯が立たず、アイデア倒れの機体に終わったものと思われます。なお、この機体に使用されたXJ-34エンジンは、海上自衛隊も使ったP2V哨戒機の補助エンジンと同じもので、我々にも身近なエンジンでした。

【模型について】

チェコのMPMの1/72簡易インジェクションキットです。2つのキットを使ってフックを差し替え式で収納時/作動時を再現してあります。また、ネオジム磁石でドリーも着脱式としています。



(中川裕幸 2023年5月)